

平成 23 年 2 月 3 日

各位

会社名 株式会社 新生銀行  
 代表者名 代表取締役社長 当麻 茂樹  
 (コード番号 : 8303 東証第一部)

### 平成 23 年 3 月期 第 3 四半期決算について ～堅調な業績により、通期連結業績予想を大幅に上方修正～

当行の、平成 23 年 3 月期第 3 四半期(9 ヶ月)の連結四半期純利益は、前年同期比 418 億円増加し 640 億円となりました。キャッシュベース連結四半期純利益<sup>1</sup>は、前年同期比 369 億円増加し 726 億円となりました。また、平成 23 年 3 月期第 3 四半期(9 ヶ月)の単体四半期純利益は、前年同期比 59 億円増加し 121 億円となりました。

#### ハイライト:

- ◇ 連結当期純利益予想は当初予想 125 億円から 430 億円に大幅上方修正、単体当期純利益予想は 100 億円を維持。3 期ぶりの通期黒字化へ。
- ◇ 当第 3 四半期は、消費者金融ファイナンス業務の営業資産の減少と貸出金利の引き下げにより資金利益が大幅に減少したものの、各部門の業務戦略の着実な進展による収益力の底上げや、優先出資証券や劣後債の買戻益の増加などにより僅かな減収にとどまる。一方、経費の徹底した削減と個人部門における与信関連費用の減少などから、大幅な増益を実現。
- ◇ 優先出資証券の買戻し(平成 22 年 12 月)による Tier I 資本の減少はあったものの、着実な利益計上と、リスクアセットの最適化への継続的な取り組みにより、連結自己資本比率、Tier I 比率共に、平成 22 年 9 月末比概ね横ばい。

#### 代表取締役社長 当麻からのメッセージ

「当第 3 四半期(9 ヶ月)は、第 2 四半期を中心に、潜在リスクへの予防的な手当ての観点から貸倒引当金を大幅に積み増しましたが、資本施策に伴う非経常的な利益計上などもあり、連結・単体ともに 3 期ぶりの通期黒字化へ向け順調な業績となりました。法人向け業務では、当行の独自性と特色を発揮できる分野の強化や、業務提携を通じたアジア展開の基盤づくりなど、お客さまの幅広いニーズに適切に対応できる体制の強化に注力してまいりました。新規開拓社数も前年度を上回り、貸出先社数も増加傾向にあり、『顧客基盤の再構築』は着実に進展しております。リテールバンキング業務では資金調達最適化を推進する中、効率を重視しつつ店舗網を拡充し、お客さまのニーズに合った付加価値の高い商品・サービスのご提供に努め、業績は安定的に推移しました。消費者金融ファイナンス業務は、規模より収益性を重視し、徹底した経費管理と与信管理により、堅調に推移しました。今後も不透明感の残る厳しい業務環境が続きますが、中期経営計画の達成へ向け、各種施策に積極的に取り組んでまいります。」

#### 決算の概要

- ◇ **業務粗利益**は、消費者金融ファイナンス子会社の資金利益が、営業資産の減少と貸出金利の引き下げにより大きく減少したものの、リテールバンキングは安定して推移し、法人部門、マーケット・投資銀行部門においては、業務戦略の着実な進展による収益力の底上げやノンコア業務資産の売却益計上、更に、優先出資証券や劣後債の買戻益の増加などにより、前年同期比僅かに(71 億円)減少し 2,421 億円。
- ◇ **経費**は、本店移転に伴う一時費用は計上したものの、業務規模最適化への継続的な取り組みや、子会社間の業務見直しによるシステム費の削減など、全社的な合理化により、前年同期比 191 億円減少し 1,084 億円、経費率は 44.8%に低下。
- ◇ **与信関連費用**は、マーケット・投資銀行部門において主に第 2 四半期にスペシャルティファイナンス<sup>2</sup>や国内不動産ノンリコースファイナンスへの引当を積み増したものの、個人部門の資産の質や回収率向上により、前年同期比 130 億円減少し 493 億円。
- ◇ 前年度末におけるアプラスフィナンシャルに係るのれん及び無形資産の減損により、当該償却額が減少、また前年度には利息返還損失引当金の追加繰入があったこともあり、**連結四半期純利益(9 ヶ月)**は前年同期比 418 億円増加し 640 億円。
- ◇ 単体では、当行が保有する子会社アプラスフィナンシャル普通株式の、新生フィナンシャルへの譲渡に伴う売却損 317 億円を計上するも、優先出資証券の買戻益や、法人部門、マーケット・投資銀行部門における、業務戦略の着実な進展による収益力の底上げなどが相殺、**単体四半期純利益(9 ヶ月)**は前年同期比 59 億円増加し 121 億円。

#### 資本および流動性

- ◇ 自己資本比率は、優先出資証券の買戻しや円高に伴う為替要因などにより外貨建て資本性証券が減少したものの、内部留保の着実な積上げに加え、リスクアセットの最適化への継続的な取り組みと貸出資産の減少により、リスクアセットが減少したことから、連結自己資本比率 8.85%、Tier I 比率 6.85%と、それぞれ平成 22 年 9 月末比概ね横ばい。
- ◇ 不良債権比率は、不動産関連の処分などにより不良債権残高は前年度末比 12%減少したものの、貸出残高の減少により低下幅は小幅に留まり 6.49%の水準。ただし、保全率は 96.2%と業界有数の高い水準を維持。
- ◇ 流動性は十分に確保し、平成 22 年 12 月末現在の手元流動性は約 1.3 兆円と引き続き高い水準。

#### 平成 23 年 3 月期通期業績予想

- ◇ 平成 23 年 3 月期連結通期予想については、堅調な業績や資本施策に伴う非経常的な利益計上などにより、連結当期純利益予想を 125 億円から 430 億円に、キャッシュベース連結当期純利益<sup>1</sup>予想を 236 億円から 540 億円に大幅に上方修正。
- ◇ 第 4 四半期(3 ヶ月)には、翌年度以降の収益安定化を確実なものとするため、不透明な業務環境下におけるダウンサイドリスクへの積極的な対処として、①スペシャルティファイナンス<sup>2</sup>に係る追加引当や、不動産関連などの不良債権処理推進による与信関連費用の計上、②消費者金融ファイナンス子会社における利息返還損失引当金の追加繰入、③グループ全体でのリストラによる一時費用の計上、を織り込む。さらに、現状の法人税率引き下げに係る議論を踏まえた税効果関連費用も織り込み済み。それらを踏まえても、通期業績は既述の通り上方修正となり、3 期ぶりの黒字化を達成する見込。
- ◇ 単体当期純利益については、当初予想の 100 億円を維持。
- ◇ 詳細については、本日別途公表の「平成 23 年 3 月期通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照。

<sup>1</sup> 純利益(または純損失)からのれんに係る償却額及び企業結合に伴う無形固定資産償却とそれに伴う繰延税金負債取崩を除いたもの

<sup>2</sup> 企業買収ファイナンスを中心とする、ストラクチャードファイナンス

平成 23 年 3 月期第 3 四半期決算の要点、概要は以下のとおりです。  
(特段の注記がない限り、以下内容は連結ベースで記載しております)

### 平成 23 年 3 月期第 3 四半期業績の要点

(単位:億円、%)

	平成23年3月期 第3四半期(9か月)	平成22年3月期 第3四半期(9か月)	増減率
業務粗利益	2,421	2,492	△2.9%
純資金利鞘(ネットインタレストマージン)	2.28%	2.52%	－
経費	1,084	1,276	△15.0%
経費率	44.8%	51.2%	－
実質業務純益	1,336	1,216	9.9%
与信関連費用	493	623	△20.9%
四半期純利益	640	222	188.0%
キャッシュベース四半期純利益 <sup>1</sup>	726	357	103.0%
1株当たり四半期純利益	32.63円	11.32円	188.0%
同キャッシュベース(円)	36.97円	18.21円	103.0%
ROE(年換算ベース)	17.8%	5.0%	－
キャッシュベースROE(年換算ベース)	20.2%	8.0%	－
ROA(年換算ベース)	0.8%	0.3%	－
キャッシュベースROA(年換算ベース)	0.9%	0.4%	－
(単体)業務粗利益	914	822	11.1%
(単体)経費	457	518	△11.8%
(単体)実質業務純益	457	304	50.1%
(単体)与信関連費用	300	193	55.0%
(単体)四半期純利益	121	62	94.9%
	平成22年12月末	平成22年3月末	増減率
総資産	104,282	113,767	△8.3%
リスクアセット	67,702	77,221	△12.3%
リスクアセット／総資産	64.9%	67.9%	－
1株当たり純資産(円)	253.49円	232.72円	8.9%
自己資本比率(バーゼルII、F-IRB)	8.85%	8.35%	－
Tier I 比率	6.85%	6.35%	－
金融再生法上の開示不良債権比率(単体)	6.49%	6.70%	－
金融再生法上の開示不良債権の保全率(単体) <sup>2</sup>	96.2%	97.6%	－

<sup>1</sup> 四半期純利益からのれんに係る償却・減損額及び企業結合に伴う無形固定資産償却・減損額とそれに伴う繰延税金負債取崩額を除いたもの

<sup>2</sup> 金融再生法上の開示不良債権の保全率 = 貸倒引当金および担保・保証等による保全額の合計 / 開示不良債権額

当四半期決算の詳細については、以下当行 URL(「決算・財務情報」メニューの中の「四半期決算情報」)をご覧ください。

URL: [http://www.shinseibank.com/investors/ir/financial\\_info/quarterly\\_results\\_2010/quarterly\\_results\\_2010.html](http://www.shinseibank.com/investors/ir/financial_info/quarterly_results_2010/quarterly_results_2010.html)

以上